

令和3年度事業計画書

新型コロナウイルス感染症は世界的なパンデミックとなり、昨年予定されていた東京オリンピックは延期、国内の集客イベントは悉く中止若しくは延期となり、日常生活においても感染拡大防止のため人の移動は停滞した。GoToトラベルキャンペーンなど、国や地方自治体による旅行需要喚起策により一時は回復の兆しが見えた移動需要は第二波、第三波の感染拡大と、緊急事態宣言再発出など感染拡大防止のための措置により再び大きな制約を受けた。

こうした中、路線バスにあっては通勤・通学等日常の移動が減少する中でも、社会の安定の維持のため事業継続が求められ、公共交通として住民の生活を支えるという強い使命感のもと運行を継続してきた。また、海外からのインバウンドは皆無となり、国内でも旅行需要は消失。県を跨ぐ移動、長距離移動の抑制により需要は激減して貸切バス・高速バスは大きな打撃を受けるなど、人の移動を担う役割のバス事業は新型コロナウイルス感染症の影響により、かつてない危機的な状況に瀕している。

岡山県バス協会ではこうした状況を打開し、地域公共交通としての路線バスを確保・維持し、災害時のライフラインとしての貸切バスを安全且つ安定的に維持するため、日本バス協会、中国バス協会など関係団体や行政をはじめとした関係機関との連携・協力を一層推進していくとともに、役員会・各種委員会を通じて会員相互の協力のもと、令和3年度において次の事項を重点的に実施することとする。

《令和3年度事業計画》

1. 総会、役員会、委員会、部会の開催

- ①通常会員総会
- ②役員会（理事会）
- ③監事会
- ④財務委員会
- ⑤運営委員会
- ⑥貸切委員会
- ⑦技術委員会
- ⑧事故防止対策委員会

- ⑨補助金運用委員会
- ⑩岡山市中心市街地の公共交通に関する検討委員会
- ⑪バスの日記念事業検討部会等各部会
- ⑫西口バスターミナル運用協議会・西口バスセンター運営委員会

2. 日本バス協会、中国バス協会への参加出席

- ①日本バス協会総会、役員会、委員会等各会議
- ②中国バス協会総会、役員会、委員会等各会議

3. 新型コロナウイルス感染拡大による影響への対応

- ・ バス事業（乗合・貸切）について調査を実施し、影響を具体的に集約
- ・ 関係機関、団体に対する支援策の陳情・要望
- ・ 日本バス協会策定の「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」及び貸切バス旅行連絡会策定の「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」に沿ったバス事業者の対応についての周知
- ・ バス車両の換気対策等、新型コロナウイルス感染症に対する安全性の周知
- ・ その他対応策についての情報共有

4. バス輸送改善事業

- ・ 岡山駅東西バスターミナル利用者の利便性向上、安全かつ効率的な運用を図るための関係機関との協議、施設等の整備・運営
- ・ ICカードの利用促進
- ・ 県内各バス停の整備
- ・ バスの日記念事業でのサービス向上運動、バス利用促進
- ・ バスロケーションシステム、パークアンドバスライド、バス優先通行措置等の推進
- ・ 渋滞対策、違法駐車対策等輸送環境改善に向けた取組
- ・ ノンステップバス・ワンステップバス等の導入促進
- ・ バス路線案内表示等の整備
- ・ 貸切バス事業者と旅行会社との意見交換や西日本ブロック内の貸切バス事業者間の情報交換などによる健全な事業運営と訪日外国人旅行者受入れ環境の整備

5. 安全輸送体制の確保

- ・ 国土交通省策定の「事業用自動車総合安全プラン2025」による安全対策等の周知と目標達成に向けての取組の推進
- ・ 「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」の実効性を高めるための貸切バス事業者への情報提供及び指導
- ・ 運輸安全マネジメントの確実な取組みに向けての指導
- ・ 飲酒運転防止のための万全の対策の実施に向けた「飲酒運転防止対策マニュアル」の周知徹底
- ・ 車内事故防止のためのキャンペーンの実施による利用者への「ゆとり乗降」の啓発と運転者に対する「ゆとり運転」による安全運行の徹底
- ・ 関係各方面へのバスの円滑な運行に向けての協力依頼
- ・ シートベルト着用の啓発
- ・ 運輸安全マネジメント研修、運行管理者講習、運転者適性診断、ドライバー研修（実技）等の積極的受講の推進
- ・ 安全運転教育、車内事故防止等に効果的なドライブレコーダー・デジタコ導入の促進
- ・ 交差点右左折時一旦停止の推進
- ・ 貸切バス事業の適正化を図るための民間指定機関による貸切バス事業の巡回指導についての支援
- ・ 健康管理や睡眠時無呼吸症候群の検査等の取組みの啓発と支援
- ・ 「貸切バス事業者安全性評価認定制度」の周知及び現地訪問審査の協力
- ・ 安全輸送体制確立に向けたゆとりある勤務体制構築のため、運転者不足問題についての関係機関との協働

6. 環境対策の推進

- ・ 環境対応車両の導入に努め、環境定期券やアイドリングストップ等エコドライブの推進
- ・ エコドライブに効果的なEMS（エコドライブ管理システム）導入の促進
- ・ 「自動車点検・整備推進運動」等排出ガスによる大気汚染の防止対策の推進

7. 運輸事業振興助成交付金の適切な運用

- ・ 「補助金運用委員会」「事故防止対策委員会」「運営委員会」「貸切委員会」等委員会委員からの意見の反映による適切な運用

8. 各種イベントへの参画等バス利用促進

- ・ 「こどもの日」や「バスの日」においてバス利用の魅力を周知し、将来のバス利用者の拡大を図る
- ・ 「岡山県公共交通教室連携会議」などのバス利用促進につながる事業への積極的な参加
- ・ おかやまマラソンにおけるバス輸送の対応

9. 陳情・要望等

- ・ バス事業の振興、運賃制度、安全対策、環境対策、バリアフリー及び渋滞対策などに係る税制・予算、諸制度及び対策についての関係機関への陳情・要望
- ・ 旅行業者との協働を行う上で、バス事業にかかる安全対策・事故防止対策の周知と関係行政機関への監査体制の整備要望
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響に対する支援要望

10. その他

- ・ 行政等からの啓蒙・広報等への協力
- ・ 各種統計資料等の作成、配布
- ・ ホームページの運用等広報活動